

# 子供の事故防止に関する 経済産業省の取組

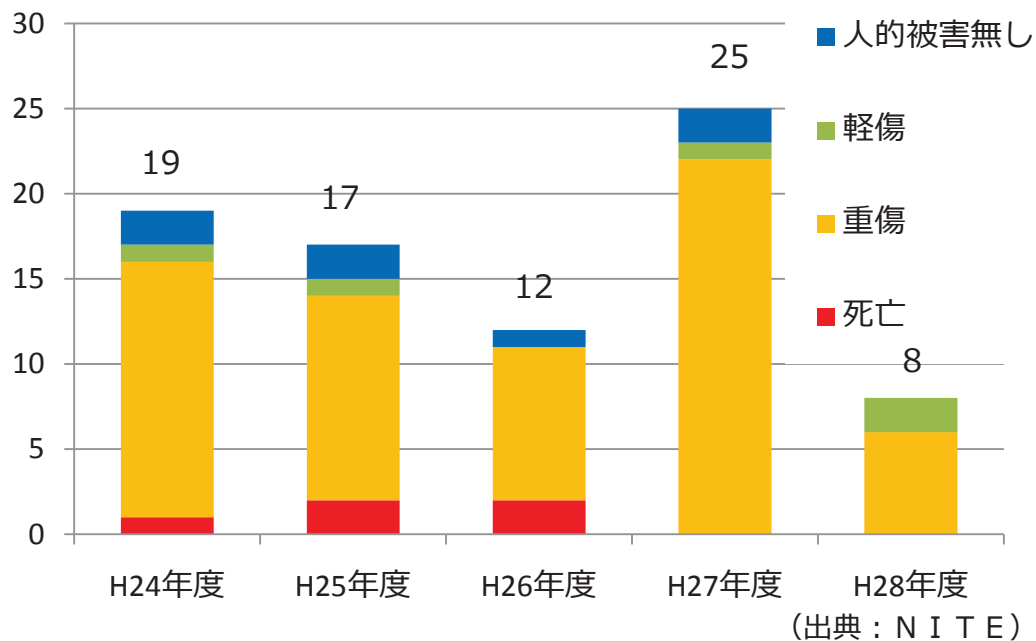
経済産業省

産業保安グループ製品安全課

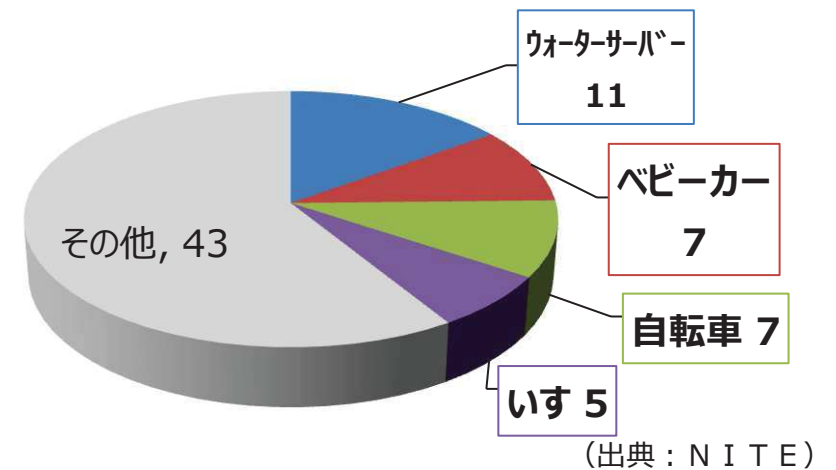
# 子供の関連事故の概況

- 子供（10歳未満）の重大製品事故は、平成24年度から平成28年度までの5年間に、合計81件発生している。
- 死亡・重傷に至った事故は、ウォーターサーバー、ベビーカー、自転車によるものが多く見られた。

## 10歳未満の重大製品事故による被害状況の推移



## 10歳未満の死亡・重傷事故の製品別件数 (H24～H28年度受付)

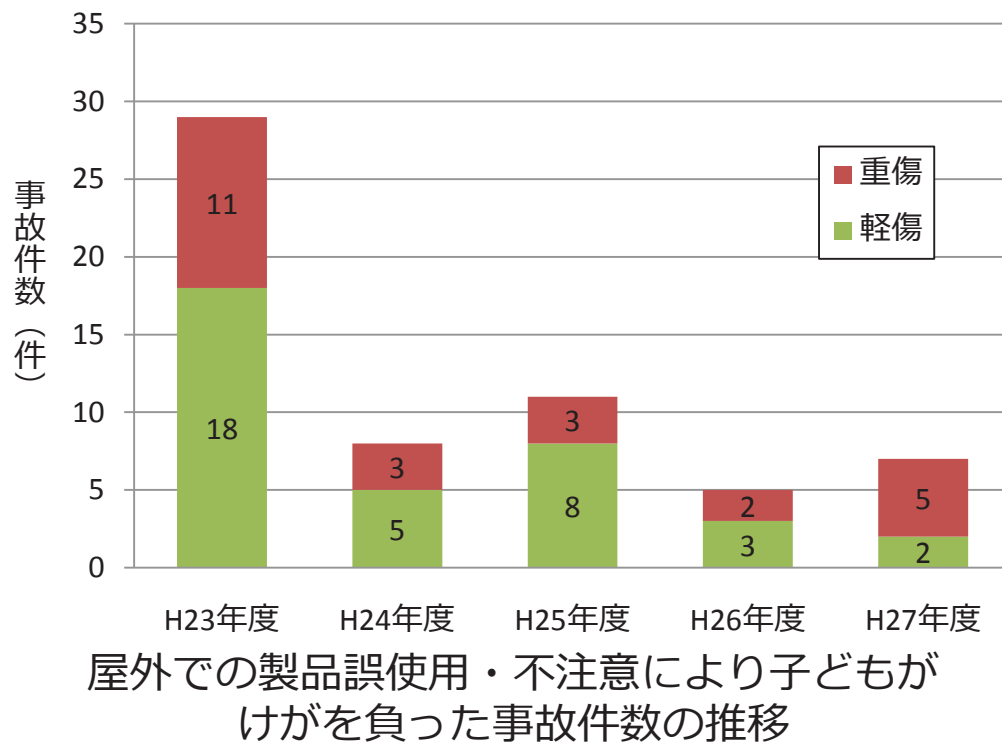


## 死亡・重傷事故の例

- ・ ウォーターサーバーの温水コックを触ってやけど
  - ・ ベビーカーを開く際、指を挟み重傷
- (出典：N I T E)

# 子供の事故防止に資する広報活動

- 屋外での子供（14歳以下）の製品事故について、今年6月独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）がニュースリリースを公表し、記者説明会を実施。年齢別に見た事故傾向等の分析結果を公表・注意喚起を行った。
- 8月、経済産業省こどもデーにおいて、電気製品の安全な使い方、安全試験の紹介を行うプログラムとして「でんきの安全を学ぼう！」を開催。



## 「でんきの安全を学ぼう」の開催風景



# キッズデザイン賞の取組

- 子どもの身体・行動特性等が配慮され、子どもの安全性に優れたデザイン等を「キッズデザイン」として表彰。
- 第11回となる平成29年度は、優秀賞として「経済産業大臣賞」4点を9月に選出し、子どもの製品事故の削減等につながる取組みを後押し（NPO法人キッズデザイン協議会主催）。

平成29年度経済産業大臣賞（4点）



小児科オンライン



積水ハウスの分譲マンションにおける安全・安心のための取組み



こじまこども園



錯視ブロックワークショップ